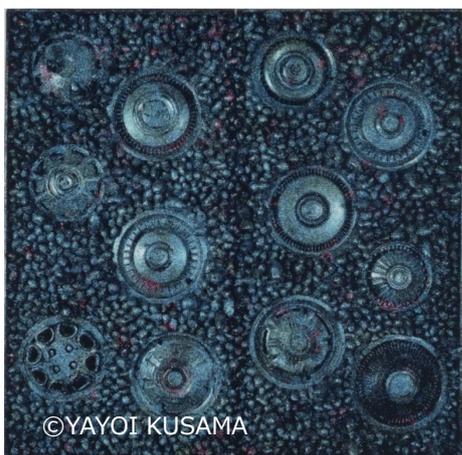


大田区立龍子記念館 PRESS RELEASE 2024年11月

## 川端龍子+高橋龍太郎コレクション

コラボレーション企画展「ファンタジーの力」開催について

2024年12月7日(土)～2025年3月2日(日)



【左】草間彌生《海底》1983年、高橋龍太郎コレクション

Photo by 安斎重男 画像転載不可

【右】川端龍子《龍巻》1933年、大田区立龍子記念館

### ■ 展覧会概要

日本屈指のアートコレクターとして知られる精神科医・高橋龍太郎氏のコレクションを、日本画家・川端龍子（かわばたりゅうし、1885-1966）の作品とともに展示するコラボレーション企画展を、好評だった2021年の「川端龍子 vs. 高橋龍太郎コレクション」に引き続き開催します。高橋氏が1990年代半ばから収集を始めた日本の現代アートのコレクションは現在3,500点を越え、これまで全国7館を巡回した「ネオテニー・ジャパン—高橋コレクション」展（2008-10）をはじめ、国内外の様々な展覧会で紹介されてきました。そして、2024年に東京都現代美術館で「日本現代美術私観：高橋龍太郎コレクション」が大々的に開催され、高橋氏のコレクターとしての軌跡が紹介されました。

龍子記念館における今回のコラボレーション企画展においては、「ファンタジー」をテーマに、高橋龍太郎コレクションが所蔵する草間彌生や李禹煥、奈良美智、加藤泉、丸山直文、宮永愛子ら20名を超える作家たちの作品を川端龍子の作品とともに展示します。さらに新たな試みとして、ブックディレクター・幅允孝氏が各章のテーマに沿って選書した本を展示室に設置し、来館者がアートと本をとおして想像の扉を開くことができる構成としています。川端龍子や現代を生きるアーティストたちの作品が織り成す世界から、鑑賞する皆さまそれぞれの「ファンタジーの力」を感じとってください。



## ■関連イベント

### ・ギャラリートーク

開催日：12月15日（日）、1月19日（日）、2月23日（日）

各日13：00～

### ・地域連携企画事業 トークイベント

#### 「川端龍子+高橋龍太郎コレクション コラボレーション企画展」

2025年2月9日（日）13：30～15：00

会場：大田文化の森 多目的室 定員：抽選で100名

詳細は右の二次元コードからご確認ください。



### ・龍子公園のご案内

隣接する龍子公園では、龍子設計のアトリエと旧宅をご覧ください。

開館日の1日3回 10:00、11:00、14:00に開門しご案内（30分程度）

### 【特別展示】旧川端龍子邸画室「アトリエの異世界」

龍子が制作に打ち込んだアトリエは、1938年に画家自身の構想により造り上げられ、国の有形文化財にも指定されています。本展ではそのアトリエ内に、加藤泉、西村陽平、宮永愛子の作品を展示します。

#### ①アトリエ内の作品見学

開館日の13:30～14:00（要事前予約・定員15名）

通常は入ることができないアトリエに入室し、作品鑑賞ができます。

※本展チケットをお持ちの方が対象となります。

詳細は右の二次元コードからご確認ください。

※11月下旬に  
申込みページ公開

#### ②アトリエでの読書体験

開館日の11:30～13:00（要事前予約・定員8名）

資料費：一般200円、小中学生100円

現代アートを眺めながら、幅允孝氏の選書した本を読む時間を体験できます。

※対象は小学生以上です。（小学校3年生以下は保護者同伴）

※古い建造物で暖房機器が整っていないため、

暖かい服装でご参加ください。

詳細は右の二次元コードからご確認ください。

※11月下旬に  
申込みページ公開

## ■ 高橋龍太郎コレクション

精神科医、高橋龍太郎(1946-)が1997年から本格的に始めた、最大級の日本の現代美術コレクション。草間彌生、合田佐和子を出発点とし、特に1990年代以降の重要作家の初期作品・代表作を数多く有する。これまで「ネオテニー・ジャパン 高橋コレクション」(2008-2010 鹿児島県霧島アートの森、上野の森美術館ほか)、「高橋コレクション展- マインドフルネス!」(2013-2014 名古屋市美術館ほか)、「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」(2015 東京オペラシティアートギャラリー)など国内外27の公立・私立美術館でコレクション展が開催されてきた。2020年、現代アートの振興、普及への多大な貢献を認められ、令和2年度文化庁長官表彰を受賞。その総数は3500点を超え、現在もなお若手作家の最新動向を中心に拡大中である。

## ■ 「ファンタジーのカ」プロローグ

龍子先生。もうすぐドラゴン・イヤーが終わります。世界が自然の脅威にさらされ、争いが絶えず、人々が分断されていく不安な年でした。西洋占星術では、地の時代から風の時代に移行し、物質的な豊かさから、知性や想像力など目に見えない豊かさへと、求められるものが変わる時だそうです。

それならば、今こそ私たちは、閉じていた窓を開け、風に乗り、冒険者となり、国境や時間を超えていく物語を空想してみたい。行って見たかった場所に行き、会いたかった人、今まで知らなかった人や生きものに出会う物語。夢見る力、ファンタジーをつくりだす力で、自分の可能性を、人の可能性を信じてみたい。龍子先生や、現代を生きるアーティストたちの作品を観ながら、一人ひとりがそんな時を過ごすことができるような展覧会を、つくろうと思えます。日々の生活、日常を生きながら、空想を広げ、ファンタジーに遊ぶ力を豊かにすること、一人ひとりの想像の力を尊重しあうことは、今、そしてこれからも、とても大切だと思うからです。

龍子先生、共にまいりましょう、ファンタジーの旅へ。

(本展共同キュレーター 児島やよい)

■ 主な出品予定作品



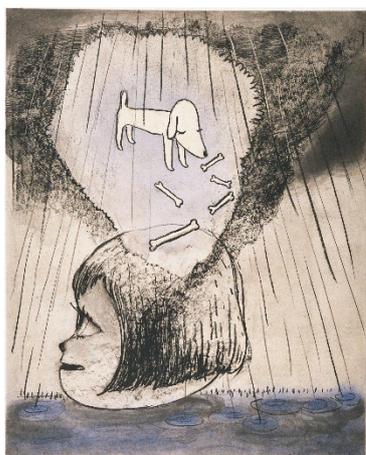
川端龍子《花摘雲》1940年、大田区立龍子記念館蔵



宮永愛子《suitcase -key-》2013年、  
高橋龍太郎コレクション  
撮影：宮島径  
©MIYANAGA Aiko, Courtesy of  
Mizuma Art Gallery



丸山直文《Island of Mirror》2003年、  
高橋龍太郎コレクション  
Copyright the artist, Courtesy of  
ShugoArts, Photo by Shigeo Muto



奈良美智《Rainy Day》2002年  
高橋龍太郎コレクション  
©NARA Yoshitomo, Courtesy of  
Yoshitomo Nara Foundation



目 [mé]《アクリルガス T-1#19》  
2019年、高橋龍太郎コレクション



川端龍子《日々日蝕》1958年  
大田区立龍子記念館



李禹煥《With Winds》1985年  
高橋龍太郎コレクション  
©Lee Ufan



加藤泉《Untitled》2020年  
高橋龍太郎コレクション  
展示風景（東京都庭園美術館、2020年）  
撮影：佐藤祐介 ©2020-Izumi-Kato

---

## ■ 広報についてのお問合せ

本展紹介のための作品画像の使用に関しては、下記までお問合せください。  
※作品画像のほか当館の外観や龍子公園の画像もご用意いたします。  
※使用に際しては、掲載・放映内容を事前に確認させていただきます。  
※使用后、掲載誌および放映が記録されたメディアを見本として当館まで  
ご送付ください。

### 【お問合せ先】

大田区立龍子記念館 〒143-0024 東京都大田区中央 4-2-1  
TEL & FAX : 03-3772-0680 学芸員 木村拓也